

野中地区防災計画


保存版


Nonaka District Disaster Prevention Plan


大切な命を
守るために

 지구 방재 계획

 地区防災预案

 Plano distrital de
prevenção de
desastres

 Rencana
pencegahan
bencana
kabupaten

 Kế hoạch phòng
chống thiên tai cấp
huyện



※防災計画のご確認ができた後は、**非常持ち出し袋**などに本冊子を保管してください

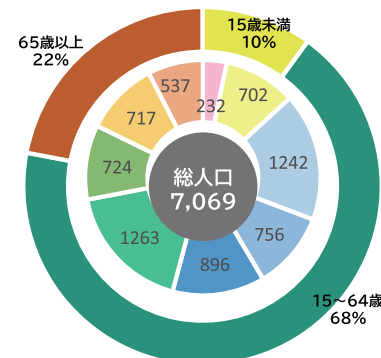
好きやねん野中 ～人がつながり、命をつなぐ～

災害から身を守るために、ふだんから「避難」について考え、備えることが必要です。特に津波を伴う大地震などが発生した場合には、地域コミュニティ内での自助、共助が重要です。野中地域活動協議会は「好きやねん野中」をキャッチフレーズに、日ごろから地域の皆さんの顔と顔がつながる多くの活動を行っています。災害発生時には共に助け合い、ひとりでも多くの命を守れることを目標に本計画書を作成しました。

皆さんの日ごろの備えで被害を最小限にとどめるために、この冊子を活用してください。



野中地区の世代別人口



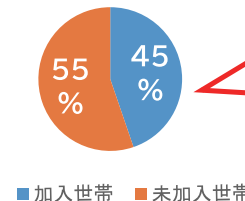
- 0～5歳
- 6～18歳
- 19～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～69歳
- 70～79歳
- 80歳以上

野中地区の人口(2024/9/30現在)
人口:7,069人 世帯数:3,890世帯

- 15歳未満 10%
- 15～64歳 68%
- 65歳以上 22%

意外と若い
人が多い
野中地区！

野中連合振興町会 加入世帯数

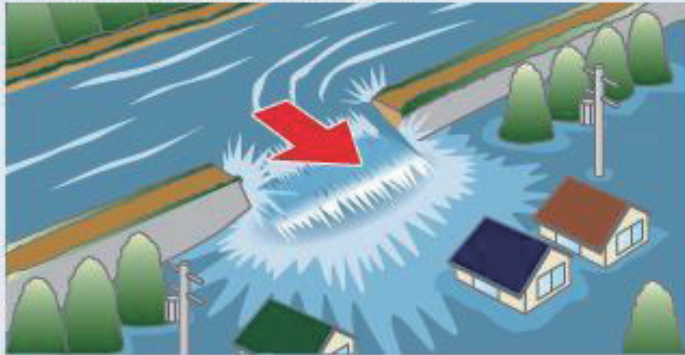


独身者やマン
ション居住者に、
振興町会未加入
世帯が多い

私たちの町で発生する水害に関するリスクには4つあります

河川氾濫

長時間雨が激しく降ると、河川の増水により堤防が壊れたり、堤防から水が溢れ出して浸水します。



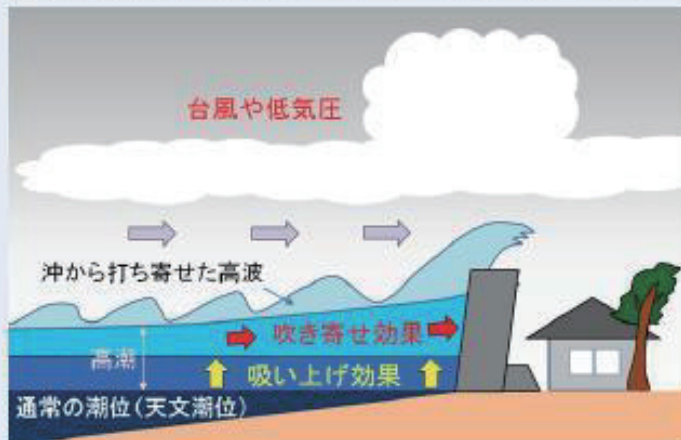
内水氾濫

水路や下水道の排水能力を超える大雨が降ったり、河川の水位上昇により十分に排水できなくなると、雨水が溢れ、住宅地や道路などが冠水します。



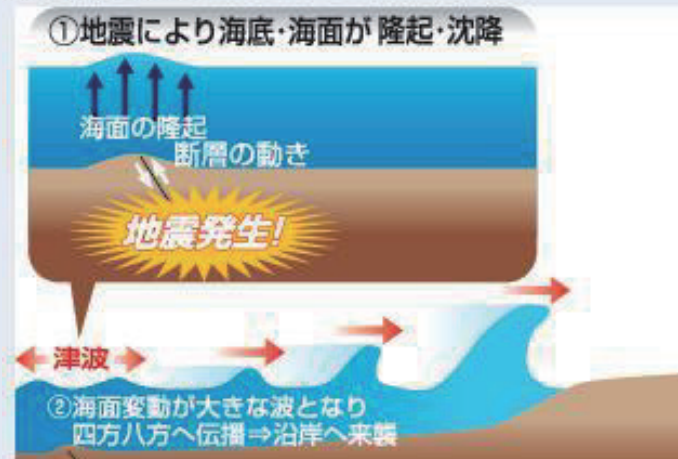
高潮

台風や低気圧の接近により海面（潮位）が平常時よりも高くなる現象を高潮といいます。潮位が上昇する主な原因は、低気圧による吸い上げ効果と風による吹き寄せ効果です。



津波浸水

海底下で発生した地震の断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し四方八方に伝達するものが津波です。



私たちが暮らす野中地区には、どのような水害の危険性があるか確認しましょう

大雨・台風時に、淀川や神崎川が氾濫すれば、浸水規模はどうか。超大型台風による高潮が発生すればどのような影響があるか、事前にハザードマップで確認しておきましょう。

災害ごとに避難のタイミングと避難先の違いを確認しましょう

災害の状況やあなたの置かれた状況によって、命を守るための避難行動は異なります。大雨・台風、津波の災害ごとに命を守るための避難行動(避難タイミングと避難先)を確認しましょう。

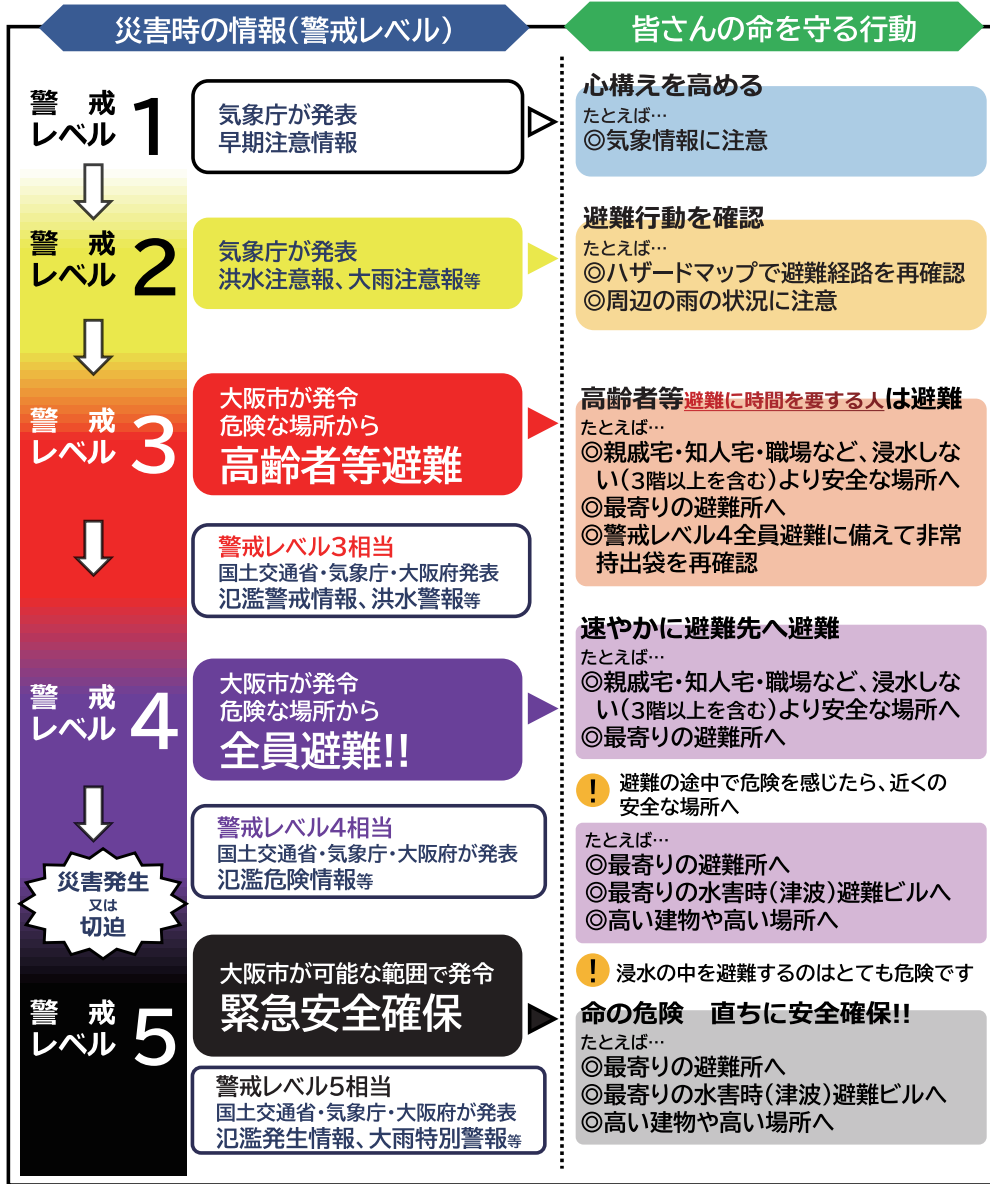
命を守るために、掲載している情報やマイタイムラインを活用し、日頃の備えを確認しましょう

災害時には様々な情報が発信されます。いざというときにすぐ行動できるよう、掲載している情報や、マイタイムラインを作成し、日頃から備えておきましょう。

津波をとまなう南海トラフ地震が発生した場合の野中地区におけるタイムライン(22ページ参照)を参考に、その時何をすべきかを想定しておきましょう。

大雨で淀川や神崎川が氾濫しそうなとき

台風による記録的高潮のとき



避難するときの注意点

大雨の中や周辺が浸水してから外に出るは危険です
浸水のおそれが高いときには、
出歩かずに屋内で待機しましょう



原則歩いて避難

やむをえず車での避難が必要な方は高齢者等避難など、より早い段階で避難を開始してください



浸水した道路は通らない
水が濁って、足元が見えにくくなり、マンホールや排水溝などで危険です



避難はどうする？

浸水が浅く、自宅にとどまれる方

無理に外に出ない

風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。

浸水が深く、自宅にとどまれない方

早い段階で避難

浸水の可能性のない場所へ早めに避難しましょう。親戚宅・知人宅・職場などへの避難も選択肢の1つです。

避難するときの注意点

浸水より高い場所へ

強風の中での運転や避難は危険



浸水よりも高く

風の強さは避難行動に影響します。台風等で猛烈な風が吹いているときには、走行中のトラックが横転したり、ブロック塀や住家が倒壊を始めるおそれもあります。



地震に伴う津波警報が発せられたらどうする

誰が救助してくれるの

避難はどうする？

できるだけ早く、浸水被害のない場所へ

揺れや津波情報をきっかけにできるだけ早く、浸水被害のない、場所へ避難しましょう。



- ◎浸水想定区域の外側
- ◎最寄りの津波避難ビルなどの浸水しない安全な階
- ◎最寄りの高い建物や高い場所の浸水しない安全な階

なお、南海トラフ巨大地震による津波(+1m)は、発生後110分で大阪市域に到達すると想定されています。

避難するときの注意点

大きな揺れ、ゆっくりとした揺れを感じたら、海岸や河川から離れ、避難しよう

津波警報が出ているあいだは避難を続けよう



地震で倒壊した家屋からは、誰が助けてくれるの？ もし、地震で火災が発生したら、誰が消してくれるの？

現在、想定されている最大規模の地震は南海トラフ地震であり、30年以内に発生する確率が80%といわれています。最大震度は7クラスで津波が私たちの町にも到達すると予想されています。

この規模の地震が発生した場合、倒壊した建物に取り残される方や火災の発生が想定されますが、残念ながら警察や消防機能といった公的機関に期待することはできません。

地域の共助で救助や消火活動、避難誘導を行い、被害を最小限にしなければなりません。

被害を最小限にとどめるためには、人と人が協力し合い、連携することが大切です

野中地区では各連合町会に1名以上の「防災士」が防災リーダーとして日ごろから活動しています。災害が発生した際には、ひとりでも多くの命を救いたいと願っていますが、それには皆さんのご理解とご協力が必要です。

(23ページ「野中地区の防災への取組み」参照)

津波情報

予想される津波の高さ		警報の名称	みなさんの対応
数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表記		
10m超	巨大	大津波警報 (特別警報)	●できるだけ早く、高いところへ
10m 5m<高さ≤10m			
5m 3m<高さ≤5m			
3m 1m<高さ≤3m	高い	津波警報	●逃げ遅れたら、高い建物、高い場所へ駆け上がる
1m 20cm≤高さ≤1m	(表記しない)	津波注意報	●津波情報に注意してください

警戒レベル4
避難

避難指示が出たからといって必ずしも避難所へ行かなければならないとは限りません。安全が確保できるのであれば在宅避難も有効です

一時避難所

津波避難ビル

在宅避難

安全情報発信

在宅避難中であることがわかるようにすることも大切です

災害は、必ずしも自宅で遭遇するとは限りません。職場など最寄りの「避難ビル」を日ごろから確認しておきましょう



(1)地震による野中地区の被害想定

【海溝型地震】

・南海トラフ地震 震度6弱(マグニチュード9.0～9.1)
津波による被害想定
淀川河口への到達時間 地震発生後 約116分(淀川河口)
想定津波高(大阪湾) 最大5.6m
野中地区浸水想定 浸水の深さ 0.5m未満～2m
人的被害想定(淀川区全体、早期避難でない場合)
死者 13,548名、避難者 124,395名

・東南海、南海地震 震度 6弱(マグニチュード7.9～8.6)
倒壊家屋想定 木造 103棟、非木造5棟
半壊家屋想定 木造 167棟、非木造21棟
人的被害想定 死者 1名、負傷者 73～86名、
避難者 289名

【直下型地震】

・上町断層帯地震 震度6強(マグニチュード7.9～8.6)
倒壊家屋想定 木造 562棟、非木造 56棟
半壊家屋想定 木造 282棟、非木造 98棟
人的被害想定 死者 18～21名、負傷者 53～62名、
避難者 1,271名

・生駒断層帯地震 震度5強(マグニチュード7.3～7.7)
・有馬高槻断層帯地震 震度5強(マグニチュード7.3～7.7)
・中央構造線断層帯地震 震度5弱(マグニチュード7.7～8.1)

(2)水害による野中地区被害想定

淀川が氾濫した場合

浸水の深さ0.5～3.0m未満(1階床上から軒下浸水)

神崎川・天竺川・高川が氾濫した場合

浸水の深さ0.5～3.0m未満(1階床上から軒下浸水)

内水氾濫した場合

浸水の深さ0.1～0.3m未満(最大床下浸水)

南海トラフ巨大地震が発生した場合(津波)

浸水の深さ0.5m～3.0m未満(1階床上から軒下浸水)

防災情報メール ぜひ ご登録を!
おおさか防災ネットWEB

<https://www.osaka-bousai.net/27100/index.html>



登録は、<ouroku@osaka-bousai.net>
に空メールを送信してください。QRコードから
もメールアドレスを読み込めます。
携帯メールアドレスを登録すると、地震・津波・台
風情報や気象に関する注意報・警報、避難勧告や
指示情報など、幅広い防災情報が提供されます。



空メール



登録案内
メール



登録作業
でOK!

避難とは「難」を「避ける」こと

指定された避難所へ行く前に、いくつかの避難先を検討し、災害時にどこに避難するか決めておきましょう。

左のフローチャートのチェック項目全てに☑が付く場合は「はい」、1つでも☐がある場合は「いいえ」(②を除く)で進んでください。

安全確保できれば在宅避難がおすすめ

在宅避難できる条件が整っていれば、自宅にとどまることには大きなメリットがあります。一時避難所や津波避難ビル、災害時避難所に指定している野中小学校などは、収容できる人数はわずかです。津波などからの緊急性が高い場合を除けば、できる限り在宅避難をお願いします。

※在宅避難については10ページ以降の情報を参考にしてください

安全な親戚・知人宅への避難も有効

普段から災害時には避難させてもらえるように相談しておきましょう。

避難判定フローチャート

地震・水害

①危険を見極める

- 自宅に倒壊などの被害がない
- 隣接する家の倒壊・火災などによる自宅への影響はない



はい(全てに☑がついた)

②危険を見極める(水害)どちらかに☑がつけば「はい」へ

- 淀川区水害ハザードマップで浸水想定が0.5m未満である
- 浸水想定区域であっても浸水深よりも居住スペースが高い位置にある

いいえ

はい(1つでも☑がついた)

いいえ

避難生活ができるか確認

- 食料品の備蓄が3日以上(できれば1週間)ある
- 日常生活で介助・介護の必要がない



いいえ

はい(全てに☑がついた)

避難所以外の避難先の確認

- 市内の安全な場所または市外・県外の親戚や知人宅に避難できる

いいえ

はい

在宅避難

継続して避難できないと判断すれば、親戚・知人宅または避難所へ避難



一時避難所・災害時避難所・津波避難ビルへ避難

町会指定の一次指定避難所へ時間に余裕をもって避難し、その後に野中小学校へ



親戚・知人宅等への避難

普段から災害時に避難する可能性があることを伝えておき、連絡先を確認しておきましょう



野中地区の一時避難所は各町会エリアごとに違います

大規模な災害が発生すると、広範囲で火災や負傷者が多くなり、道路の寸断等で通行が困難になることが予想され、警察、消防などの公的支援が望めなくなります。

被害を軽減するためには、一時避難所へ集合し、安否確認、初期消火、救出、救護、避難誘導等を地域の皆さんが、お互いに協力し合い被害を最小限にするために一時避難所に集合します。

野中地区 一時避難所

(一時避難所で災害の規模を早期に把握し、状況に応じて野中小学校に避難します)

南1	野中南公園 ※典礼会館 ※十三中学校
南2	南二会館
北1	野中北一公園
北2	野中北公園
堀上	野中北一公園
野中北住宅	1号棟集会所
野中北スカイハイツ	三角公園
ユニハイム十三野中	1階集会所

※スカイハイツは津波避難時も三角公園に集まり、情報を確認してマンションの3階以上に移動します。

※一時避難場所は状況に応じて変更する場合があります。津波などが予想される場合や台風などでは屋外での集合はかえって危険な場合があります。その場合、事前に地域で合意できた一時避難場所を追加設定しています。



家屋の浸水・家財の被害を軽減しましょう



淀川区における水害ハザードマップでの野中地域の災害想定



このハザードマップを参考に、いざというときに安全に避難できるよう安全な避難場所や避難経路を普段から確認しておきましょう。

津波避難ビル

(津波避難ビルは、避難情報が発令されたときに避難が可能です)

3	淀川区民センター	野中南2-1-5
4	(株)エイト日本技術開発	野中北1-12-39
5	(株)米谷	野中北2-1-22
6	アービング野中南公園	野中南2-10-40
7	デュクラス大阪	野中北1-5-34
8	(株)フェイスグループ	野中北2-5-33
9	市営野中北住宅1号館	野中北2-4

災害時避難所・津波避難ビル

(災害時避難所は、災害の状況に応じて開設されます)(津波避難ビルは、避難情報が発令されたときに避難が可能です)

1	野中小学校
2	十三中学校(野中では一部指定しています)

地図情報サイト「マップナビおおさか」

各種ハザードマップや防災情報をインターネットでも確認できます

災害リスク

避難の方法

避難所について

命を守る行動

チェックリスト

在宅避難のすすめ

在宅避難は、慣れた生活環境を維持でき、快適にプライバシーも守れ、最小限のストレスで生活を維持できます。ペットもいつもと同じ環境で一緒にいられます。また、感染症のリスクも減らすことができます。

一時避難所や津波避難ビルはまさに一時的な避難先です

一時避難所は各町会エリア内の在宅避難できない方がはじめに集まる場所です。津波避難ビルは緊急時に津波から逃げるための安全が確保された建物ですが、必ずしも寝食が可能なわけではありません。災害の危機が収まった段階で、避難先の確保が必要であることを認識しましょう。

野中小学校は福祉避難所です

野中小学校は災害時避難所・津波避難ビルに指定されており、災害時には対策本部が設置され、災害支援の中心拠点となります。しかし、**敷地や施設内容からも収容できる避難者数は限られており、日ごろから支援が必要な高齢者などの社会的弱者の方々のための避難拠点**となります。

支援物資は町会エリアごとに配給

在宅避難家族への支援物資の配給は、野中小学校内で町会エリアごとにまとめて分配します。各家庭への配給は町会配給窓口となります。(14ページ参照)
そのためにも7日以上家族が暮らせる備蓄品が必要だと認識をお願いします。

在宅避難のための備えをしっかりとっておきましょう

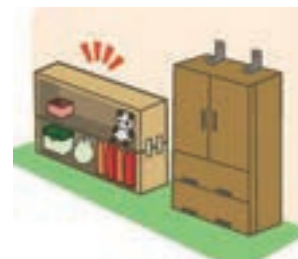
家族で話し合おう

P11



住まいを安全に

P12



備蓄品の用意を7日分

P20



在宅避難中の注意事項

- 節水に努めましょう
水道の復旧にはかなりの時間がかかります
- 水洗トイレを使うときは、下水管の安全が確認できるまでトイレの水を流さないようにしましょう
下水管が破損していると汚水が逆流するおそれがあります
- 震災時であってもごみはきちんと分別しましょう
室内の衛生の維持に気をつけて生活することで感染症などを予防できます
- テレビ・ラジオ、防災無線などから発信される情報を常に把握し、不確実な情報に惑わされないようにしましょう
- 普段から地域との関わりを持ち、いざというときは協力しましょう
- 公的支援物資は、野中小学校内から町会ごとに配給されます
連合町会では在宅避難家族リストを収集し「支援物資登録カード」の提出を求めます
(p25に安否確認カード、支援物資登録カードがありますので活用してください)

安全な住まいにしよう

大地震では、家具が倒れ、あらゆるものが落下してきます。そのため、家具の下敷きになって身動きが取れなくなったり、落下物でけがをする危険性が高くなります。

被害を防ぐために、自宅の安全点検を行いましょう

■家具の数を減らそう

不要な家具類は処分したり、ウォークインクローゼットや据え付け収納家具へまとめて収納するなど、生活空間にはできるだけ家具を置かないようにしましょう。

■避難経路を確保する工夫をしよう

ドアや避難経路をふさがないように、家具の配置を工夫しましょう。また、家具が倒れる向きも考えて配置しましょう。

難避経路や出入り口付近、「寝る場所」「座る場所」には家具は置かないようにしましょう。また、玄関のまわりには物を置かない工夫をしましょう。

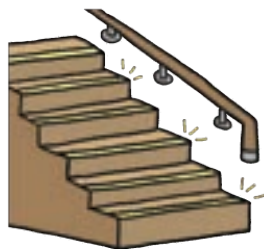
■家具を固定しよう

高さのある家具や冷蔵庫などは必ず固定しましょう。家具の転倒防止器具等の設置や、家具の固定に取り組みましょう。

■家の中に逃げる場所をつくっておこう

地震が起きたときの鉄則は「落下物から身を守ること」です。身近な避難場所としてはテーブルの下が安全です。家族全員が身を寄せることができる大きさで、天板が厚く、脚が丈夫なテーブルが望ましいでしょう。

日頃から、テーブルや机の下には物を置かないように注意し、テーブルの脚には滑り止めをつけておきましょう。



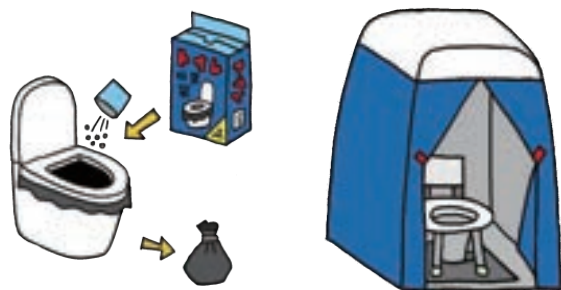
事前に確認してみましょ。☑が多ければ安心して在宅避難ができそうですね。

災害時に、家族のいのちを守る 事前確認シート

室内の確認事項〔危険箇所のポイント〕
家族と一緒に確認して、室内を安全にしておこう。

- 冷蔵庫や電子レンジなどの家電を固定している
- 食器棚の固定をしている
- 食器棚から中身が飛び出さないようにしている
- 照明器具が落下しないように対策をしている
- 散乱物で足をけがしないように履物を準備している
- 屋外までの避難経路を確保している
- ガラスが割れないように飛散防止対策をしている
- 停電時でも、懐中電灯を見つけられるようにしている
- 非常持出袋は中身を整理し、すぐ取り出せるようにしている

マンションにお住まいの方へ



管理組合などの災害対策活動について 日ごろから関心を持ちましょう！

自分の住むマンションの防災対策や備蓄を 知っておこう

震災時には、エレベータの停止による階段での移動が想定されます。特に高層階は、階段を何度も往復するなど大きな負担が考えられるため、日頃からの備蓄品の用意が大切です。



管理組合や町会で水、食料、携帯トイレなどの共同備蓄を行っている大規模マンションもあります。
自分のマンションの防災対策について、必ず確認しましょう。

①大地震発生時には、水を流さないでください

地震により、マンション内の排水管が壊れている可能性があります。もし、壊れているのにトイレや台所などから水を流すと、低層階で水が漏れ、大きな迷惑になる可能性があります。排水管が壊れていないことが確認できるまで水を流すのはやめましょう。



②エレベーターには乗らないでください

エレベーターが動いていても、余震などにより再び停止し閉じ込め被害にあう可能性があるため、エレベーターには乗らずに階段を使ってください。



③ゴミは自宅に保管してください

ごみの収集はしばらく停止となる可能性があるため、使用済みの携帯トイレなどのごみは当面の間、各戸のベランダなどで保管してください。



④避難する際、連絡先を管理者等に伝えてください

近所の人などが心配するほか、緊急修理の実施に支障をきたす可能性があります。避難などのため長期間留守にする場合は、ブレーカーを落とし、ガス、水道の元栓を閉めたうえで、連絡先を町会、管理組合、管理人などに伝えましょう。



⑤災害対応に協力してください

マンションの1階・2階にお住まいの方は、一時避難先として3階以上の部屋に避難できるよう、普段から連携を心がけるようにしてください。また、マンションの応急対策としてやるべきことはたくさんあります。居住者の方は可能な限り協力をお願いします。特に次のような知識や技術などを持つ人は積極的な協力をお願いします。

- ・建築、設備などの技術者
- ・水を上層階に運ぶなど、体力に自信がある人
- ・手話や外国語ができる人
- ・子どもの世話、お年寄りのサポートができる人



在宅避難者への支援物資配給方法について

災害時、支援物資は地方公共団体、または委託により 連合町会・ボランティアが配布を行ってくれます。災害発生当初など、支援物資が十分でない場合は数量制限を設けて公平に配布されます。支援物資の供給が追いついてくれば、数量制限は解除されます。支援物資は地区単位でまとめて配布されるため、野中地区では野中小学校が配布場所として指定されています。

避難所での配給方法としては、配給リストを作成し、そのリストに基づいて物資を一定量ずつ渡すこととなります。また、妊産婦や乳幼児が必要とする物資(例:粉ミルクや生理用品)は優先的に配布します。公平な配給を行うため、第三者機関の介入も考慮します。また、支援物資が到着した際には速やかに情報を共有し、全避難者に分かるように告知することで、不公平感やトラブルの発生を防ぐよう努めます。

大規模災害時のプッシュ型支援に対応します

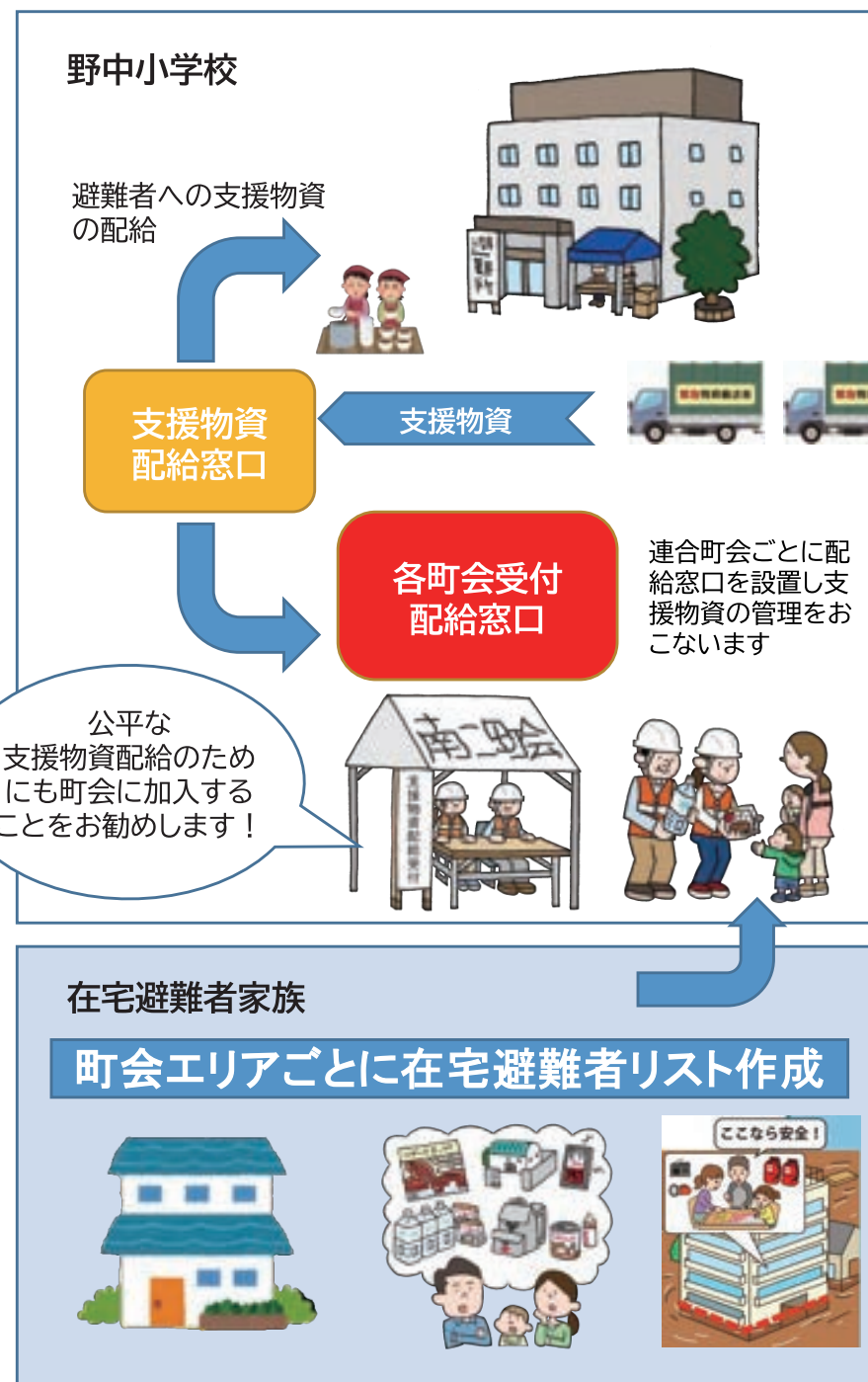
大規模災害発災当初は、淀川区役所において正確な情報把握に時間を要すること、民間供給能力が低下すること等から、必要な物資量を迅速に調達することは困難となります。

そのため、国が被災府県からの具体的な要請を待たないで、避難所避難者への支援を中心に、被災者の命と生活環境に不可欠な物資(基本8品目等)のほか、避難所環境の整備に必要な物資、熱中症対策に不可欠な冷房機器、感染症対策に必要なマスクや消毒液等を調達し、被災地に緊急輸送します。これをプッシュ型支援と呼んでいます。

野中地区では野中小学校が避難物資受け入れ拠点となりますが、在宅避難者への支援物資配給を効率よく公平に行うため、連合町会ごとに配給窓口を野中小学校内に開設します。配付数量は各連合町会でまとめた在宅避難者リストに基づいて決定します。

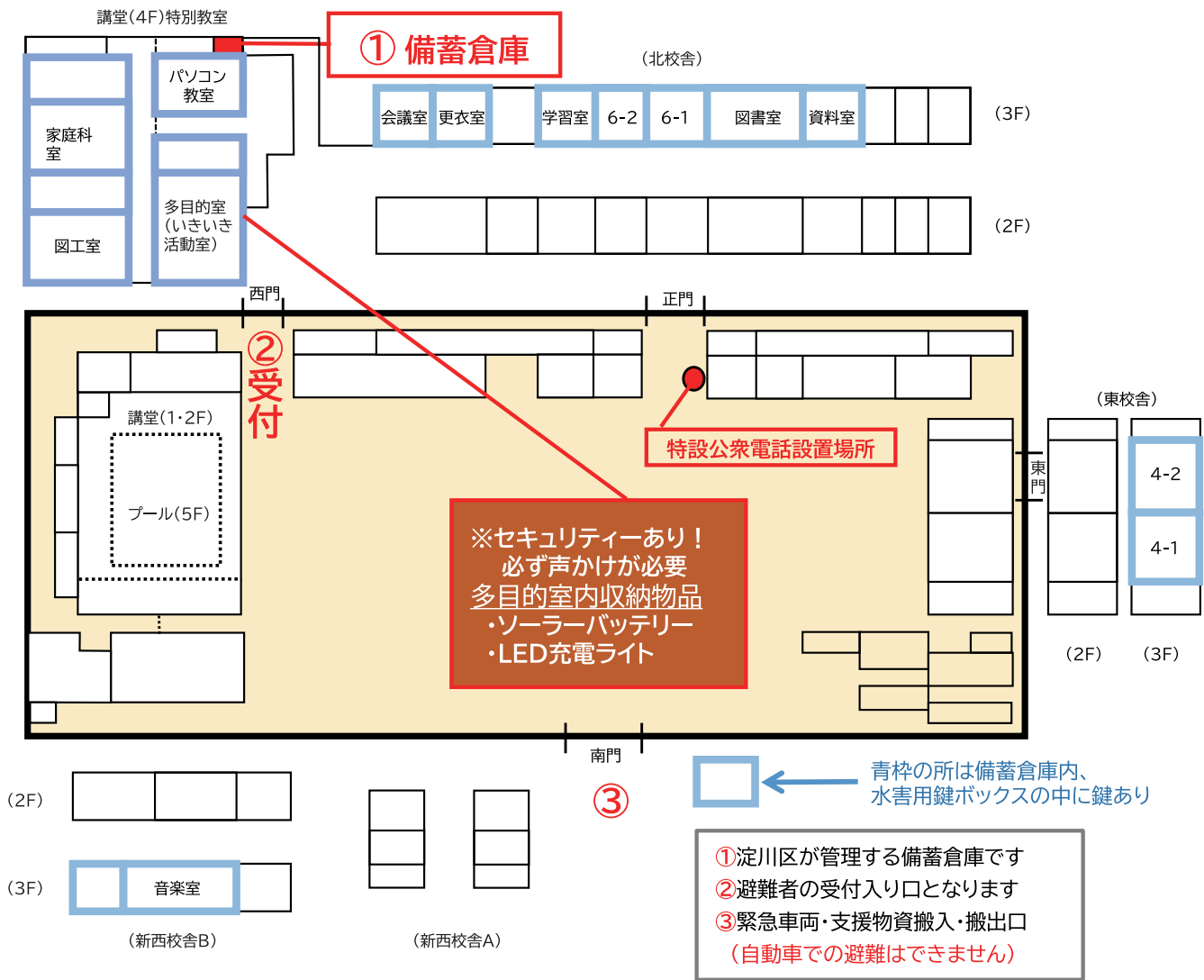
町会に加入されていない場合は、これから町会に加入されるか、避難情報の伝達方法を事前に検討してください。

公平な対応を行うためにも住民の皆様のご理解とご協力がなくては、実現が難しいものです。



野中小学校への避難について

大阪市立野中小学校 校舎平面図



学校にはすぐには入れません

野中小学校が避難所として開設されるには一定の条件が必要となります。小学校が授業中であれば、初期の開設条件が厳しくなりますので、状況に応じた対応が必要となります。

まず、避難所のルールを明確にし、全ての避難者がそのルールを理解し遵守することが重要です。これにより、場所取りや物資の配給に関するトラブルを未然に防ぐことができます。避難者自身も自分のことだけでなく、周囲の人々との協力が不可欠です。

避難者それぞれの特性やニーズに応じた配慮が求められます。例えば、妊産婦や高齢者、障がい者には特別な支援が必要となる場合があります。

最後に、心のケアも必要です。ストレスや不安を軽減するための心理的サポートが必要です。避難所でのコミュニティ活動や相談の場を設けることで、避難者の精神的な負担を軽減することができます。



野中小学校 避難所のルール

避難所運営委員会

- この避難所は、避難者の生活再建の拠点です。
- この避難所の運営に必要な事項を協議するため、避難者の代表、市担当者、施設管理者からなる避難所運営委員会(以下「委員会」という。)を組織します。
 - 委員会は、毎日定時(季節に応じて指定)に定例の会議を行います。
 - 委員会の運営組織として、総務、管理、食糧、救護、衛生、物資の運営班を避難者で編成します。
- 避難所は、電気、水道などライフラインの復旧を目処に閉鎖します。
- 避難者は、家族単位で登録する必要があります。
 - 避難所を退所する時は、委員会に転居先を連絡してください。
 - 食料や物資の供給を必要とする在宅避難者は連合町会を通じて登録する必要があります。
- 職員室、保健室、調理室等の施設や避難者全員のために必要となる部屋のほか、危険な部屋やスペースには避難できません。また、避難所では、定期的に居住スペースの移動を行います。
- 食料・物資は、原則として全員に配給できるようになるまでは配給しません。
 - 食料、生活物資は避難者の組ごとに配給します。
 - 特別な配給を行う場合は、委員会の理解と協力を得てから行います。
 - 配給は、避難所以外の近隣の在宅避難者にも等しく行います。
 - ミルク・おむつなど特別な要望は、避難所運営委員会で対応します。
- 消灯は、午後10時です。
 - 廊下、通路は点灯したままとし、体育館等は照明を落とします。
 - 管理に必要な部屋は、安全確保のため点灯したままとします。
- 放送は、午後8時で終了します。
- 電話は、午前8時から午後8時まで、受信のみを行います。
 - 放送等により呼び出しを行います。
 - 公衆電話は、緊急用とします。私用電話は臨時仮設電話等を利用してください。
- トイレの清掃は、午前10時、午後4時に、避難者が交替で行うこと。
 - 清掃の時間は、放送を行います。
 - トイレは、それぞれのトイレに掲示する注意事項に従ってください。
- 防犯のため、夜間のトイレ等の施設使用には、付き添い人を求めてください。
- 施設内での飲酒・喫煙は、禁止します。
- 金銭等の貴重品は、各自が責任を持って管理してください。
- 犬・猫等のペットは避難所内の決められた場所で、他の避難者に迷惑がかからないように管理をおこなってください。(身体障害者補助犬法に規定される盲導犬等の補助犬は除きます。)
- ごみは分別して指定された場所に出してください。
- 各種の伝達情報は、避難所の掲示板に貼り出します。
- 避難所の屋外に避難されている方も、同様に上記のルールを守ってください。

避難者のみなさんは、
当番等を通じて自主的に避難所運営に参加してください。

避難行動要支援者への取り組み

災害発生時には避難行動要支援者を安全な場所に誘導したり、避難場所での生活を支援する要支援者の家族、隣近所の人、地域の人、民生委員、ボランティアなどまわりの人が「支援者」として、避難行動要支援者に対し、災害時に迅速かつ的確な対応を図るため、平時より避難行動要支援者支援体制の確保等について取り組む必要があります。

(1) 避難行動要支援者の避難支援計画の具体化

避難行動要支援者の避難支援は自助・地域(近隣)の共助を基本とし、自主防災組織等は、防災だけでなく、声かけ・見守り活動や犯罪抑止活動等、地域における各種活動を通じて人と人とのつながりを深めるとともに、要支援者が自ら地域にとけ込んでいくことができる環境づくりに努める。要支援者避難支援計画は本人に合った方法での進め方を行う。ただし、支援者は、支援者自身と家族の安否確認を第一に行い、余力がある場合に要支援者の支援に協力し、協力できない場合にも責任は問われない。

(2) 避難所における支援

災害時に避難所の教室・保健室等を活用して福祉避難室を設置し、避難者の中より支援協力者を募り皆で支援する。また、避難所内の段差の解消等を進める。

(3) 避難行動要支援者情報の更新

毎年1回は声かけ・見守り活動を通じて情報更新を行い災害に備える。

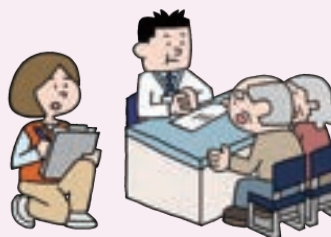
(4) 関係機関等との連携

災害で起こり得る被害を考え、日頃より関係機関等(区役所、消防署、警察署、社会福祉協議会)との連携方法を定める。野中連合振興町会では、淀川区と個別避難計画作成に関する協定を既に締結しています。



支援が必要な方は身近にいるはず！
災害時には、まわりの人が協力して避難を助けてください

言葉が通じないことも
災害時には不安な要素です。
淀川区では外国人居住者が
10%以上です。



避難所での
福祉避難室の設置や
相談窓口を設ける

支援を必要とする身近な人	
1	
2	
3	
4	

淀川区災害対策本部

地震発生時の市、区災害対策本部等の設置は次のとおりです。

- (1)大阪市域において震度5以上(大阪管区气象台発表)を観測したとき、大阪市災害対策本部を設置し、それに伴い淀川区災害対策本部を設置する。
- (2)大阪市域において震度4以上(大阪管区气象台発表)を観測したとき、大阪市災害対策緊急本部を設置し、それに伴い淀川区災害対策緊急本部を設置する。

- (3)地震による被害が発生するおそれがある場合において、大阪市災害対策緊急本部を設置するまでに至らないとき、または設置するまでの間、大阪市災害対策警戒本部を設置し、それに合わせて淀川区災害対策警戒本部を設置する。



野中地区 自主防災組織について

災害時はもちろん、日頃から地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織、これが「自主防災組織」です。自主防災組織は「地域災害対策本部」「避難所運営委員会」「町会本部」の3つの組織により運営します。

「自主防災組織」は野中地域活動協議会、野中連合振興町会が中心となって、組織運営するように設計していますが、振興町会に加入されていない住民の皆様にも役割を担っていただく必要がありますことをご理解ください。

区分	班編成	担当職務内容	人数	担当団体等
災害対策本部	本部長	避難活動の総括・指揮(避難所全体)	1	連合振興町会 会長
	副本部長	本部長補佐代行	3	地域役員2名 防災リーダー隊長
	総務班	企画・運営、総括、各班との連絡調整、区本部との連絡調整、その他の班に属しない事項		地域活動協議会
	情報班	町会の被害状況を地域災害対策本部に報告		地域活動協議会
	ボランティア対策班	参加ボランティア職務振り分け対応等		地域活動協議会 ボランティア代表
	消火班	地域内初期消火消防署との連携		防災リーダー 連合町会役員
	救出班	地域内初期救出警察・消防と連携		防災リーダー 連合町会役員

区分	班編成	担当職務内容	人数	担当団体等
避難所運営委員会	管理班	標識設置、居室配置、入居場所指定及び誘導、施設管理、避難者管理、統制		連合町会長、子ども会、青少年指導委員会、防災リーダー
	警備班	地域内の警備、避難所内秩序維持		防犯会、防災リーダー
	支援物資班	支援物資調達・配給、輸送等		町会長、子ども会、青少年指導委員会、防災リーダー
	炊き出し班	食事炊き出し、配給		女性会
	救護班	救護所開設、病人等の対応		民生児童委員等 医師・看護師等有資格者
	要支援者支援班	要支援者への各種支援		町会長、各団体 中高生ボランティア
衛生班	衛生管理・指導、ゴミ回収、トイレ管理、バット等の衛生管理		各種団体、 ボランティア	

区分	班編成	担当職務内容	人数	担当団体等
町会本部	管理班	各町会ごとの避難者、在宅避難者情報及び安否情報管理	各(2)	各町会会長、副会長
	支援物資班	町会ごとの支援物資調達・配給、輸送等	各(4)	各町会役員他

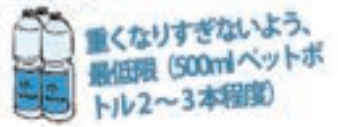
備蓄品・持ち出し品チェックリスト

日ごろからの心得と準備

避難のときに持っていくもの（非常持出品）を準備しておきましょう

非常持出袋（リュックサックなど）に入れておくもの

□ 飲料水



□ 非常食



□ 貴重品



□ 医療品等



その他

- ホイッスル（笛）
- 厚手の手袋（軍手）
- 衣類（上着・下着・靴下）
- 携帯用カイロ
- ビニール袋・ラップ
- 洗面用具・衛生用品・マスク
- 底の丈夫な靴
- 乾電池・モバイルバッテリー
- 携帯用トイレ
- ティッシュペーパー・ウェットティッシュ
- 懐中電灯・ランタン
- ラジオ
- ヘルメット・防災ずきん
- 雨具・防寒具
- タオル・ハンカチ
- 万能ナイフ・缶切り
- 簡易食器（割り箸、紙皿）
- 生理用品・トイレトペーパー

成人男性で
15kg
成人女性で
10kg



あくまでも目安です。自分で持って避難できる量にしましょう。

家族構成や世帯事情に応じて必要なもの

乳幼児



疾患のある方



妊婦



ペット



高齢者



その他



在宅避難には備蓄品を多めにローリングストック

災害発生から数日は、普段通りに買い物ができないことが考えられますので、家族の生活必需品を日ごろから十分準備しておくで安心です

- 7日分以上の食料 ▶アルファ米、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、栄養補助食品、菓子、調味料、スープなど
- 7日分以上の飲料水 ▶大人1人当たり1日3リットル
- トイレ用品 ▶簡易トイレ、汚物保管用容器、トイレ袋、トイレトペーパー
- 燃料 ▶カセットコンロ、ガスボンベ
- 発電機 ▶蓄電池(バッテリー)やカセット発電機など

ローリングストック方式

賞味期限切れになってしまう前に消費する、経済的な方法です。



「マイタイムライン」とは、大雨や台風などの風水害にそなえて、一人ひとりの家族や生活の状況に合わせた避難行動、つまり「自分の逃げ方」を考えておくものです。

「いつ」「誰が」「何をするのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざという時にあわてずに行動をとる助けになります。

わが家の避難計画

① 避難先

避難先を確認してメモしておきましょう。

状況に応じた避難先として、避難先①～③のすべてを確認しましょう

避難先① 知人・親戚・職場など安全な避難先

避難先② 一時避難所

避難先③ 津波避難ビル・災害時避難ビル

その他 避難先候補

② 避難までに準備すること

避難を開始するまでに何をすることを考えましょう

情報収集

- 気象情報・避難情報を確認

避難の準備

- 非常持ち出し品を確認
- 家財等の上階への移動開始
- 窓の施錠の確認
- 備蓄品を確認
- 家の周りの点検
- 携帯電話の充電
- 必要なものの買い出し
- 飛ばされそうなものの片付け
- 避難所の開設状況の確認

連絡・声かけ

- 近所への声かけ
 - 避難の声かけをする
 - 一緒に避難する

名前 _____ 連絡 _____

- 避難の声かけをする
- 一緒に避難する

名前 _____ 連絡 _____

- 家族と連絡を取り合う(離れている場合) _____

- 避難の支援者に連絡
(自力では避難が困難な場合)

家族のみなさんで
タイムラインについて
話し合ってみましょう

③ いつ避難を開始するのか

ご自身や家族の健康状態や体力などから、事前に警戒レベルに合わせた避難判断ができるようにマイタイムラインを想定しましょう

野中地区 南海トラフ地震 タイムライン

わが町の避難計画

南海トラフ地震発生
震度6弱(マグニチュード9.0~9.1)

気象庁

津波警報

各地津波到達情報

マスメディア・NET



テレビ・ラジオ・インターネット・防災無線など

津波到達予想
約116分
(淀川河口)

発生時

30分後

60分後

90分後

120分後

6時間後

住民のみなさん

安全確保



一時避難所避難

津波避難ビルへ避難



要支援者
避難支援

点呼

野中小学校へ避難

在宅避難

知人・親戚宅避難

野中小学校
避難所開設

野中災害対策本部設置

情報収集・関係者集合

人命救助
初期消火

津波到達30分前
命を守るタイムリミットライン

津波第1波到達予想時刻

備蓄品配給



防災訓練による日ごろのトレーニングが大切です



スモークハウスで煙体験



起震車による地震体験



水消火器による消火訓練

地元の「防災士」が防災指導者として取り組んでいます

防災に関するご相談には、防災士にご相談いただけます

野中地区では、野中連合振興町会が中心となって、防災への取り組みを推進しています。現在、全連合8町会に各1人以上の防災士資格を取得した防災リーダー（野中地域防災指導者）を配しています。

住民のみなさんの
防災訓練への
ご参加をお待ちしております

私たちが防災計画を立案し、万が一に備えた準備とアドバイスを行っています
みなさんよろしく！



淀川区と個別避難計画作成に関する協定を締結

野中連合振興町会及び淀川区役所は、地域内にお住まいの要支援者を対象とした個別避難計画作成等の取組を始めます。取り組むにあたり、個人情報取扱い等について定めた協定を2025年3月25日に締結しました。

野中地域の基本方針は「避難行動要支援者の取り組み」(17ページ)をご参照ください



野中地区の防災への取り組み

助け合いで被害を最小限にする

津波を伴う大地震などの激甚な災害が発生した場合には、公的な支援（消防や警察など）である【公助】が望めなくなります。被害を最小限に食い止めるためには、自分自身の身を守る【自助】、地域の皆さんで助け合う【共助】が重要です。

防災は日ごろの備えにつきます

野中地区では、連合8町会の一時避難所に各種防災用品を備えています。地域によって差異がありますが、救援用バールやジャッキなどを保管しています。

また、国道176号線の高架下（野中北1）には連合町会防災倉庫を設置しています。火災などにも対応できる簡易消防ポンプ、カセットボンベ式発電機など、地域で活用できる防災品を保管しています。



野中連合町会防災倉庫

便利な災害関連情報サイトご案内

災害用伝言サービス「171」&「171WEB」

電話を利用する声の伝言板「災害用伝言サービス171」とインターネットを活用する「災害用伝言板WEB171」をご紹介します



災害用伝言ダイヤル171
利用方法



災害用伝言板WEB171
利用方法

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板。 「災害用伝言ダイヤル171」

利用ガイドンスにしたがってご利用ください。

伝言の録音方法	伝言の再生方法
<ol style="list-style-type: none"> 1 171 にダイヤルする ※ダイヤル音が鳴ります 2 録音する場合は 1 録音番号を利用する 録音は1回 ※ダイヤル音が鳴ります 3 録音終了後、録音内容を確認してください 録音終了後、録音内容を確認してください 録音終了後、録音内容を確認してください 	<ol style="list-style-type: none"> 1 171 にダイヤルする ※ダイヤル音が鳴ります 2 再生する場合は 2 再生番号を利用する 再生は1回 ※ダイヤル音が鳴ります 3 再生終了後、再生内容を確認してください 再生終了後、再生内容を確認してください 再生終了後、再生内容を確認してください

家族等の安全がインターネット上で確認できる。 「災害用伝言板web171」

画面の指示によりご利用ください。

登録方法	再生方法
<ol style="list-style-type: none"> 1 https://www.web171.jp にアクセス 2 電話番号を入力 E:00000000000000000000 被災地の方などの電話番号*、携帯電話・FAXの電話番号をダイヤルしてください *市内局番からダイヤルしてください 3 画面の指示に従って、文字による伝言を登録してください 	<ol style="list-style-type: none"> 1 https://www.web171.jp にアクセス 2 電話番号を入力 E:00000000000000000000 被災地の方などの電話番号*、携帯電話・FAXの電話番号をダイヤルしてください *市内局番からダイヤルしてください 3 画面の指示に従って、文字による伝言の再生確認をしてください

緊急時のサイレンのパターン (防災スピーカー)

緊急事態の種類	サイレン (警報音) パターン
大津波警報	3秒吹鳴 2秒停止 3秒吹鳴 2秒停止 3秒吹鳴
津波警報	5秒吹鳴 6秒停止 5秒吹鳴 6秒停止 5秒吹鳴
警戒レベル5	20秒吹鳴 10秒停止 20秒吹鳴 10秒停止 20秒吹鳴
警戒レベル4	10秒吹鳴 10秒停止 10秒吹鳴 10秒停止 10秒吹鳴
緊急地震速報 (震度5弱以上)	緊急地震速報のチャイム音

サイレンパターンを
確認できます▼

大阪市危機管理室
ホームページ

Yahoo! 防災速報アプリ

避難情報や地震に関する情報を
プッシュ通知でお知らせします

地域の設定で「大阪市〇〇区」を設定しておくと、大阪市内に関する情報が受け取れます。



- 防災関係機関 一覧連絡先 電話番号
 - 淀川区役所(災害対策本部) 06-6308-9734
 - 淀川消防署(火災・救急) 06-6308-0119
 - 淀川警察署 06-6305-1234

野中地域活動協議会活動について

「すきやねん野中！みんなが主役！」「地域の絆で人と人が繋ぎ・繋がる＝チーム野中＝」を合言葉に若い世代やマンション住民、地域の事業所(企業・福祉施設等)の参画を促しつつ、「自らのまちのことは自ら決める」ことを基本としています。



野中地域活動協議会
ホーム@ページURL

お問い合わせフォーム



野中地域で町会に加入するには気軽にご連絡ください。
携帯電話でのお問い合わせフォームで受け付けています。

避難者カード

野中地区 (町会)
《安否確認カード》 自宅・避難所

ふりかな ()	
お名前 :	
性別 血液型 : 男 女 型 (Rh + -)	
ご住所 :	
連絡先 :	
生年月日 : T S H R 年 月 日 歳	
一時避難場所 : ()	
避難所 : (野中小学校)	
世帯状況 : 人世帯(構成:)	
その他	

このカードは非常持ち出し品等の中に入れて災害時の安否確認に使用してください

避難者カード

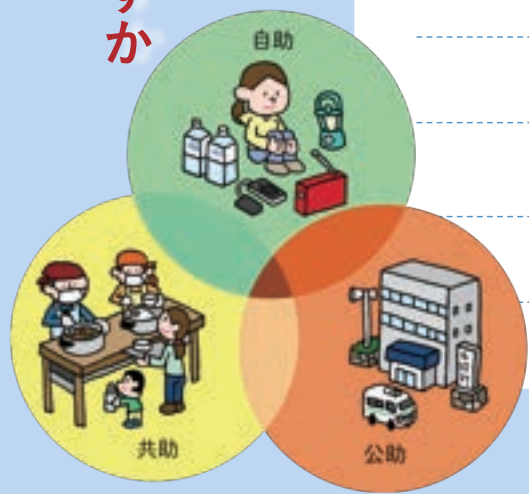
野中地区 (町会)
《支援物資登録カード》 自宅・避難所

ふりかな ()	
お名前 :	
性別 : 男 女	
ご住所 :	
連絡先 :	
世帯状況 : 人世帯(構成:)	
避難場所 : ()	
特に必要としているもの :	
その他	

このカードは町会への支援物資用資料として使用してください

最後までお読みいただきありがとうございます。
 防災は訓練を繰り返す事が大切です。これで十分という防災はありません。
 本冊子も年に1度は新たな気持ちで、家族みんなで読んでください。

大規模災害時には
 公助（消防や警察の支援）が
 期待できないことをご存じですか

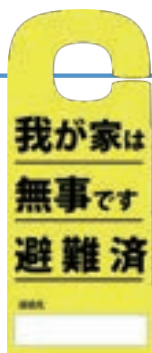


メモ

A large white rectangular area with horizontal dashed lines for taking notes.

我が家は
無事です
避難済

連絡先



避難確認「無事ですカード」を活用してください

災害直後に自宅や家族が無事であれば、在宅避難することができます。その際に玄関ドアノブに「在宅中」(緑の札)を示すことで、まわりに無事であることを伝えることができます。知人・親せき宅に避難する場合や、避難所に避難する際は「避難済」(黄色の札)をドアノブにつるしてください。ドアノブがない場合は、テープで固定するなどしてください。

住民のみなさんの安否確認がスムーズにできるようご協力をお願いいたします



我が家は

無事です

在宅中

連絡先



活用方法は
裏面をご覧ください

災害から身を守るためにも野中連合振興町会 8町会への加入をお勧めします

野中南1町会、野中南2町会、野中北1町会、野中北2町会、野中堀上町会、野中北住宅町会、野中スカイハイツ町会、ユニハイム十三野中町会

編集:野中防災士会 監修:龍谷大学 政策学部 石原凌河准教授、大阪市淀川区役所、淀川区まちづくりセンター
協力:野中地域活動協議会、野中連合振興町会、野中地域防災リーダー

出典:大阪市水害ハザードマップ(淀川区)、「内閣府福祉避難所の確保・運営ガイドライン」、防災無料イラストbyいぢちひろゆき、鴻巣市水害ハザードマップ